



明照保育園
連絡はこちらへ
TEL・0182-32-7388
HP・FB 随時更新中
2023年8月1日 発行

【秋田県大雨災害ボランティアをして】

秋田県内で初めてでしょうか広範囲で発生した大雨災害。私も7月21日（秋田市）は個人で、26日（秋田市）と27日（五城目町）はお坊さんの会でボランティアに参加してきました。

社会福祉協議会で運営する災害ボランティアセンターに登録して、21日はその日駆け付けていた私含めて5人が同じグループに分けられ、30代～40代の男性4人に50代の女性1人という構成。車2台で向かいます。うかがう先はボランティアセンターに依頼があり、前日からの仕事が残っているところや新規のところなど様々です。訪問した中には「ご近所さんと協力して終わったらあとOK」なんて言われ次に移動することもありました。

基本的には依頼主が求める作業と、我々ができる範囲（畳は上げるけど床を剥がしたりはしない等）を話しながら、要不要を仕分けして外に出したり、泥を掃除したりするわけです。排水が追い付かず逆流してくる内水はん濫の影響もあるんだと思います。汚い話ですが実際の現場を伝えますと、私が活動してきたところでは、カビとウジ虫みたいなのが大量発生して腐ったベッドの解体と排出や、災害前の生ごみがシンクに残ったままの台所の掃除と、冷蔵庫の前の床下収納にたまつた汚水くみ上げ。たくさんの植木と池に阻まれる先にある物置き小屋の浸水した物の排出。（特に使ってない水槽にたんまりたまつた汚水を少しづつ減らして移動する作業が大変でした。）

五城目町では、建具屋さんの資材置き場（立てて保管している大量の木材）の清掃で、木材をいったん外に出して、小屋の下にたまっている泥をかき出して、濡れた木材を天地返ししてまた倉庫に戻すという作業。秋田市での作業と違い、不衛生な物と格闘するというわけではなかったですが、終わりが見えない作業でした。

秋田市の方は県庁所在地でもあり、男性女性問わず、学生から60代くらい、県内外からそして外国の方まで幅広くボランティアが活動してくださっているお陰で、今まで依頼対応に全日かかっていたところが午後になると作業が完了している状況に変化してきている印象です。五城目町の方も県外からたくさん駆け付けて下さっていましたが、秋田市と比べると圧倒的に人手が足りない感じで、秋田市のボランティアさんが少しづつ必要な場所に移動していくのかなと推測します。

今回の経験で園長が感じたポイントは2つです。

その①「断捨離！」です。仕事と趣味が重なり合ってたりして難しいこともあります、ゴルフ・釣り・熱帯魚・機器の収集等、使用せずに長年保管している物があれば整理しましょう。浸水した時はそれすべてをボランティアにお願いしないといけなくなるかもしれませんよ。ボランティアはそれをするのが仕事ではあります、大変です！



その②「ご近所付き合いを大切に！」です。依頼割合のすべてがそうではないですし、独り身や、あまりご近所とは関わらずに生活している方もいることは確かです。色々な生活スタイルがあっていいと思うのですが、こういう時は話は別。

行ってみてわかるのはゴミの山が出された通りを曲がると全然浸水していなかったりします。被害のあったご近所さん、なかったご近所さんとだと思いますが、協力して作業が終わっているなんてケースがありました。日頃のご近所付き合いは防災に役立つんだと実感しました。

幸い今回横手では大きな被害はなく終わりましたが、お年をめした方に聞くと、横手の川もしょっちゅう氾濫して・・・と聞くので、横手川ってどんな川かウィキペディアから紐解いてみます。「横手市の市街地とその周辺では横手川が「ら」の字に蛇行し、川幅が狭いうえに十分な治水対策が取られておらず、古くから「暴れ川」の異名で再三にわたり洪水の被害を起こしてきた。その中でも代表的なものが1965年（昭和40年）の洪水で、市街地の約1/3が浸水、浸水家屋が4,100戸に上るなど、多大な被害をもたらした。この水害を機に、秋田県は1969年（昭和44年）より広域河川改修事業に着手。ただ、改修工事が進むにつれ、川の景観や環境などの保全を求める声が高まった。そこで、1981年（昭和56年）から1年間に渡り調査が行われ、景観・環境保全に関する総合計画を策定。1987年（昭和62年）には国の「ふるさとの川モデル事業」に指定され、1997年（平成9年）に事業が完成した。施工区域内の橋は全て架け替えられ、蛇の崎橋は移設されることになった。新・蛇の崎橋付近には河川広場が整備され、現在でも送り盆まつりや、かまくらの行事で使用されている。護岸には男鹿半島で採れる男鹿石が使用されており、平面的・連続的な印象を避けている。また、黒沢川支流の松川には、洪水防止などの目的から大松川ダムが造られ、1999年（平成11年）に完成した。」

とのこと。なるほど、こうした先輩方の苦労のお陰で今回も難を逃れたということでしょう。加えて私は雪も関係していると勝手に想像しています。厄介者の雪ですが、あの雪を毎年水に流してくれているのがこの横手川なんだと。相当な水量に耐えうるからこそ、近年の異常な大雨でも踏ん張ってくれている。その恩恵をいただきながら、あぐらをかかず、住民はそれぞれにできることをしていきましょう。

でも・・・捨てられるか。テレビ『有吉ゼミ』で学んだ判断基準は「いる・いらない」ではなく「使う・使わない」でした。人間、いらないし使わないけど、とっておきたい思い出もあるんだよな～。(みつを風)

園長 津村 侑弥

今月の歌 3歳未満児組…「うみ」「なみとかいがら」「アイアイ」など

3歳以上児組…「オバケなんてないさ」「南の島のハメハメハ大王」など

今月の目標

0歳児 (ひよこ組)	安心する環境の心地よさの下、存分に探索活動やひとり遊びを楽しむ	3歳児 (もも組)	夏の生活や遊びに必要な身の回りのことを自分で行い、達成感を味わう
1歳児 (りす組)	片言や表情で友達と思いを通り合わせ、夏の遊びや生活を楽しむ	4歳児 (ひまわり組)	自分の考えを伝えたり、相手の思いに気づいたりしながら、友達との関わりを深めていく
2歳児 (うさぎ組)	友達と夏の感触遊びを楽しむ中で、身の回りのことをやってみようとする	5歳児 (さくら組)	自分たちで決めた目標や目的に向かって取り組む充実感を味わう

今月の行事

3日(木) 詩吟勉強会 (さくら組) 11:00～11:30	12日(土)～16日(水) 保育確認をとっているお盆期間
5日(土) こども縁日 16:00～18:00	19日(土) YOKOTE 音 FESTIVAL (さくら組)
9日(水) 交通安全指導 (信号機の見方を知る)	23日(水) 誕生会 10:00～10:40 職員ミーティング 13:00～14:00
10日(木) 避難訓練 (火災) 10:00～10:30 3つの約束: ①おさない ②走らない ③しゃべらない 性教育講座③ (さくら組) 11:00～11:30 「成長とプライベートゾーン」	24日(木) 昔語り (3歳以上児組) 11:00～11:30 25日(金) 身体測定

職員の研修その他

- 8/8(火) 子育て支援員研修会 (大曲交流センター)
- ・〃 すぐくネットワーク 年長児 (浅舞地区交流センター)
- 8/16(水) 市保育研究委員会 (浅舞地区交流センター)
- 8/17(木) 市幼小合同研修会 (南庁舎講堂)
- 8/18(金) 子育て支援員研修会 (大曲交流センター)
- 8/29(火)〃

- 園見学・8/7(月) 聖園短大 6名 11:00～
読み聞かせボランティア
- ・8/8(火) 高校生 8名 11:00～
給食運営校外実習・8/21(月)～9/1(金)
秋田栄養短期大学 (2年生) 1名
- 看護実習・8/22(火)～24(木)
県立衛生看護学院 (3年生) 3名

うさぎ組 (2歳児)
3歳になります！

ひまわり組 (4歳児)
5歳になります！

もも組 (3歳児)
4歳になります！

さくら組 (5歳児)
6歳になります！

げんきのもと

はやね さっぱりしてねむろう！
はやおき ラジオたいそうに参加するのもいいですね！
あさごはん なつやさいおいしいよ！

育児休業中だった先生が8/1(火)より職場復帰します。3歳以上児組の全体の保育にあたります。よろしくお願いします。

大活躍だった子どもたち!!

当園では、3回目から年長児 (さくら組) がマーチングの演奏演技で参加し今年で9回目になります。

さくら組になってはじめての発表の機会にドキドキ・ワクワクしながらも、はりきっています！他クラスのお友達もぜひ応援きてください。

日 時…8月19日(土) 11:00～11:10

場 所 … 九品寺会場

(8/20(日)のイベント開催をお楽しみください！)

※その他の会場…よこてイーストにぎわいひろば *市民広場

※駐車場…あたごビル様・明照保育園職員駐車場 (鍛冶町)

みなさん ありがとうございます！